

① ロシア株式 & ルーブル

英ロンドン証券取引所に上場するロシア大手企業の預託証券では、ロシア銀行最大手ズベルバンクや国営ガス大手ガスプロムの株価が侵攻前から一時 **99%下落**した。通貨ルーブルは侵攻後に **3割強下落**し、最安値圏で推移。16日には国外で発行した国債が利払いを迎える。

【ロシアルーブル／円：3年】



② ロシア 格下げⅡ

格付け会社 S&P グローバルは 3 日、ロシア国債の格下げを発表した。

外貨建ての長期債務格付けを「ダブル B プラス」から信用リスクが極めて高いとされる「**トリプル C マイナス**」まで **8 段階引き下げた**。

自国通貨建ての格付けも投資適格級の下限である「トリプル B マイナス」から投機的等級の「トリプル C マイナス」まで引き下げた。

格付けの見通しはいずれも「ネガティブ（弱含み）」とし、さらなる格下げに動く可能性がある。

米格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスは 6 日、ロシアの自国通貨建てと外貨建て長期発行体（長期国債）格付けを、非常に投機的であることを示す「**Ca**」に再格下げした。見通しは「ネガティブ」とし、今後の状況次第で追加の引き下げもあり得る。信用危機が深刻化し、デフォルト（債務不履行）に陥るリスクが大幅に高まったとみている。

③ 中国

中国は秋の共産党大会をにらみ、景気下支えに動く。

2兆5000億元（約45兆円）の減税や税の還付を実施して企業の負担を軽減するほか、追加利下げにも含みを残すなど財政や金融政策をフル活用する。

李克強（リー・クォーチャン）首相は5日、所信表明に当たる政府活動報告で、2022年の実質経済成長率目標を「5.5%前後」とした。

21年の「6%以上」から引き下げた。

ただ国際機関やエコノミストの見通しよりは高い。

国際通貨基金（IMF）は1月の最新予測で4.8%とはじいており、相対的に中国政府の目標設定は強気に映る。

ちなみに、22年予算案には、前年比7.1%増の1兆4504億5千萬元（約26兆3千億円）の国防費を計上。

⇒ 実際の経済成長率はもっと低いと考えられます。世界の成長センターがこのように低成長では、世界景気は残念ながら伸びません。